

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワーデザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	225		単位数	7.5
授業概要	初めて切り花を扱うことを前提とし、切り花の仕組みや取り扱い方・デザインを行うための道具やその使用方法・基本形について学ぶ。基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	切り花の正しい取り扱い方・水揚げ方法、道具の正しい使い方を身に付けること、スパイラルテクニックやアレンジの基本形の制作技術を身に付けることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	小池智子	本校卒業生であり生花店、レストランウェディングフラワー部門での勤務経験をもつ。在学当時から磨いてきた基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開する。				
	高野真樹子	本校卒業生であり生花店での勤務経験をもつ。現在も学校付属の実習店舗スタッフとしても勤務。その経験をもとに、基本知識・技術の指導とフローリストとしての心得を指導。				
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書（NFD） 自作プリント 冠婚葬祭マナー事典					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	日時	指導項目	指導内容	備考
1	4/10(木) PM	フラワーデザイン概論①	授業の流れについて説明 フラワーデザインの歴史と概要 道具・資材類の説明	小池・高野 講義
2	4/14(月) AM	資材類の基礎テクニック	ナイフの使い方・ワイリング・テピング方法の習得、コサージュ制作	小池・高野 講義・演習
3	4/14(月) PM	切り花の取り扱い方①	植物のしくみと水揚げの原理	小池・高野 講義・演習
4	4/21(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
5	4/21(月) PM	アレンジメント	クラシック 立体構成 ドーム	小池・高野 演習
6	4/28(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
7	4/28(月) PM	アレンジメント	クラシック 立体構成 コウン	小池・高野 演習
8	5/12(月) AM	フラワーデザイン概論②	切り花の取り扱い方②	小池・高野 講義・演習
9	5/12(月) PM	花束・アレンジメント	スパイラルテクニックの習得 ラウンド、立体構成 復習	小池・高野 講義・演習
10	5/19(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ラウンド	小池・高野 演習
11	5/19(月) PM	アレンジメント	クラシック 立体構成 ホリゾンタル	小池・高野 演習
12	5/26(月) AM	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
13	5/26(月) PM	復習 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ラウンド クラシック 立体構成	小池・高野 演習
14	6/2(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
15	6/2(月) PM	アレンジメント	クラシック 直線構成 トライアングル	小池・高野 演習
16	6/9(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習

17	6/9(月) PM	アレンジメント	クラシック 直線構成 ファン	小池・高野 演習
18	6/16(月) AM	花束	スパイラルテクニックの習得 ワンサイド	小池・高野 演習
19	6/16(月) PM	アレンジメント	クラシック 直線構成 オーバル	小池・高野 演習
20	6/23(月) AM	花束	スパイラルテクニックの復習 ワンサイド	小池・高野 演習
21	6/23(月) PM	アレンジメント	クラシックスタイルの復習 直線構成	小池・高野 演習
22	6/30(月) AM	テスト 花束・アレンジメント	スパイラルテクニック ワンサイド クラシックスタイル 直線構成	小池・高野 演習
23	6/30(月) PM	花束・アレンジメント	お悔やみに関する花の知識の習得 お悔やみを意識した花束とアレンジメント	小池・高野 講義・演習
24	7/7(月) AM	モダンスタイル	クラシックスタイルとモダンスタイルの考え方の違い	小池・高野 演習
25	7/7(月) PM	モダンスタイル	花束・アレンジメント パラレル フリーセンドス	小池・高野 演習
26	7/14(月) AM	模擬店舗①	水揚げ方法の復習	高野・小池 講義・演習
27	7/14(月) PM	模擬店舗②	花束・アレンジメント復習、夏休み前のまとめ	高野・小池 演習
28	9/1(月) AM	ブライダル装花	結婚式の花について	小池・高野 講義・演習
29	9/1(月) PM	ブライダル装花	贈呈用花束、メイン装花、花冠	小池・高野 演習
30	9/8(月) AM	ブーケ・ブートニア	ブーケについて ホルダーブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 講義・演習
31	9/8(月) PM	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ ラウンド ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
32	9/22(月) AM	ブーケ・ブートニア	ホルダーブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
33	9/22(月) PM	ブーケ・ブートニア	ワイヤリングブーケ キャスケード ブートニア ヘアオーナメント	小池・高野 演習
34	9/29(月) AM	テスト メイン装花・ブーケ	ブライダル メイン装花 ホルダーブーケ ブートニア	小池・高野 演習
35	9/29(月) PM	テスト ブーケ	ワイヤリングブーケ ブートニア	小池・高野 演習
36	10/6(月) AM	資材の扱い方①	現場視察 ASCA商会ショールーム	高野・野部 見学引率
37	10/6(月) PM		現場視察 松村工芸アンナサッカ東京	高野・野部 見学引率
38	10/20(月) AM	花束	基礎型の総まとめ・総復習 (ラウンド・ワンサイド)	小池・高野 演習
39	10/20(月) PM	アレンジメント	基礎型の総まとめ・総復習 ※ワイヤリングテクニック 旧NFD 3級コサージュ	小池・高野 演習
40	10/27(月) AM	模擬店舗③	使用目的に合わせた花束、アレンジメント	高野・小池 講義・演習
41	10/27(月) PM	模擬店舗④	使用目的に合わせた花束、アレンジメント	高野・小池 講義・演習
42	11/10(月) AM	年中行事の花飾り①	クリスマスに関する知識の習得 フレッシュリース	小池・高野 講義・演習
43	11/10(月) PM		クリスマス アドベントアレンジメント、入口ツリー装飾	小池・高野 演習
44	11/17(月) AM	年中行事の花飾り②	正月に関する知識の習得 正月のギフトアレンジメント	小池・高野 講義・演習
45	11/17(月) PM		正月 正月のウェルカムアレンジメント	小池・高野 演習

46	12/1(月) AM	模擬店舗⑤	使用目的に合わせた花束・アレンジメント	高野・小池 講義・演習
47	12/1(月) PM	模擬店舗⑥	植物の持つキャラクターを学ぶ	高野・小池 講義・演習
48	12/8(月) AM	模擬店舗⑦	使用目的に合わせた花束、アレンジメント	高野・小池 講義・演習
49	12/8(月) PM	模擬店舗⑧	オーダーシートの書き方や接客方法を学ぶ	高野・小池 講義・演習
50	12/15(月) AM	資材の扱い方②	様々な資材の活用方法（株式会社東京堂ショールーム他）	高野・小池 見学引率
51	12/15(月) PM		見学・購入 卒業作品展で販売する商品の材料を購入	高野・小池 見学引率
52	1/19(月) AM	資材の扱い方③	購入した資材使用	高野・小池 演習
53	1/19(月) PM		卒業作品展で販売する商品 まとめ	高野・小池 演習
54	1/26(月) AM	テスト：模擬店舗⑨	テスト 花束、アレンジメント	小池・高野 演習
55	1/26(月) PM	テスト：模擬店舗⑩	テスト 1年間の総まとめ	小池・高野 講義・演習
56	※未定	展示会見学	関東東海花の展覧会（池袋サンシャインシティ）見学	レポート提出有
他教科との関連 フラワービジネス			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワービジネス			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	90		単位数	3
授業概要	花き園芸ビジネスに必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術や商品陳列など、販売促進につながる技術の基礎を学ぶ。	到達目標	接客に際しては、お客様に不快感を与えない接客を。包装技術は、プロの販売員として恥ずかしくない包装を。商品陳列などの販売促進技術は、確実な効果のみられるものをそれぞれ目指す。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 国内外の生花店などで販売員として勤務した経験があり、その実務経験に基づいてフローリスト養成に向けた授業を展開。 高野真樹子 生花店での勤務経験をもとに、売れる商品づくりの基礎を指導。現在も学校付属の実習店舗スタッフとして実務を行う。					
テキスト・教材	フラワーデザイナーのための花の教科書 自作プリント フラワービジネス					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験60% レポート10% 実技10% 発表10% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準		出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる	

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	4/15火 PM	ビジネス概論①	花屋の仕事とは・接客マナーの基本について 心構え 水揚げ&花のケアについて	水本 講義
2	4/18金 AM・PM	ラッピングの種類と技術①	リボンワーク 花束ラッピング（1本包み）	高野 演習
3	4/22火 AM・PM	ラッピングの種類と技術②	リボンワーク復習 花束ラッピング（筒包み・合わせ包み）	高野 演習
4	4/25金 AM・PM	ラッピングの種類と技術③	鉢物ラッピング 箱詰め梱包作業と宅配・配送について	高野 演習
5	6/19木 PM	商品管理と陳列①	水揚げ&花のケアについて	水本 講義
6	6/26木 PM	商品管理と陳列②	水揚げ&花のケアについて	水本 講義
7	7/3木 PM	商品管理と陳列③	商品管理の基本と陳列（切花・鉢物・苗物）	水本 講義
8	7/10木 PM	商品管理と陳列	花贈りのマナーとポイント①	水本 講義
9	7/17木 PM	ビジネス概論⑤	花贈りのマナーとポイント② チェックテスト	水本 講義
10	7/23水 8/29金	品種名テスト 第1回 水揚げ116種テスト 第1回	バラ40種・カーネーション15種・ガーベラ15種以上 植物名・科名・水揚げ方法 208点以上	水本 講義
11	11/11火 PM	商品制作 クリスマス①	ドライ素材・プリザーブドフラワーを使用した クリスマス向け商品の制作	高野 演習
12	11/12水 PM	商品制作 クリスマス②	実習店舗で販売するためのクリスマス商品の制作	高野 演習
13	11/18火 PM	商品制作 お正月①	アーティフィシャルフラワーを使用した お正月向け商品の制作	高野 演習
14	11/19水 PM	商品制作 お正月②	実習店舗で販売するためのお正月商品の制作	高野 演習
15	11/25火 PM	接客サービス①	サービスマインドとセールスマインド 接客マナーの基本	水本 講義
16	12/2水 PM	接客サービス②	接客マナーの基本 接客サービスの基本	水本 講義
17	12/9火 PM	接客サービス③	接客サービスの基本 接客サービスに役立つ関連知識	水本 講義
18	12/16火 PM	接客サービス④	接客サービスに役立つ関連知識 チェックテスト	水本 講義
19	12/23火 1/9金	品種名テスト 第2回 水揚げ116種テスト 第2回	バラ40種・カーネーション15種・ガーベラ15種以上 植物名・科名・水揚げ方法 208点以上	水本 講義
20	1/14水 PM	ショップ研究①	リサーチ方法説明 各グループごとにリサーチ場所検討・決定	水本 講義・演習
21	1/21水 PM	ショップ研究②	各グループごとにリサーチ場所検討・決定 リサーチ場所訪問 商品購入	水本 講義・演習
22	1/27火 PM	ショップ研究③	リサーチ場所訪問 商品購入	水本 講義・演習
23	1/29水 PM	ショップ研究④	グループごとにディスカッション 発表・レポート提出	水本 講義・演習
他教科との関連 フラワーデザイン インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	デザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～5月	時間数	15		単位数	0.5
授業概要	構成力・描写力・空間に対しての認識等を培い、ビジュアル表現におけるコミュニケーション能力を身に付ける。	到達目標	作業に参加し、課題を完成させていくことで、デザインの基本概念への理解を促していくことを目標とする。			
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。 植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月 日	指導項目	指導内容	備考
1	4/11金AM 4/15火AM	つないで見る 点・線・面・立体とは？	観察する・伝える 「～している人」を点描により線・面をつないで描画する	講義・演習 4/11：FD 4/15：BF
2	4/18金AM 4/22火AM	構成デザインの単体体験	バラバラにしてみる 集めてみる	講義・演習 4/18：FD 4/22：BF
3	4/25金AM 5/9金AM	幾何形態を描く	基本的形の理解 陰影、遠近感（遠近法）の表現	講義・演習 4/25：FD 5/9：BF
4	5/2金AM 5/13火AM	かたちで見る	ブレインストーミング プロポーションの変化 シンメトリーを探す	講義・演習 5/2：FD 5/13：BF
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワーデザイン			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	植物の基礎知識			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～6月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	植物は、私たちの生活にとってなくてはならないものである。この植物を扱う園芸業界でスペシャリストとして活躍するため、基本的な植物に関する知識を身に付けることを目的とする。	到達目標	植物の性質や分類、生態に関する用語や知識を理解することを目標とする。			
担当教員 プロフィール	草間さきく 中学・高校の「理科」教員免許を持ち、非常勤講師として中学・高校・大学で教鞭をとった経験がある。専門分野である生物学の知識をもとに演習を交えながら、植物の基礎知識をより分かりやすく講義する。					
テキスト・教材	園芸・植物用語集（淡交社）、自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50％ レポート50％ 実技0％ 発表0％ その他（出席率・授業態度など）0％		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	4/16水A	ガイダンス 植物の分類	課題について 植物の名前と学名	講義・演習
2	4/23水A	植物の構造	細胞の構造、器官（根・葉・茎）や花の構造	講義・演習
3	4/30水A	被子植物の生殖と繁殖	花と種子のつき方 無性生殖と有性生殖	講義・演習
4	5/7水A	遺伝の基礎	遺伝と変異 品種改良	講義・演習
5	5/14水A	植物の生理生態①	種子の発芽、光合成、呼吸	講義・演習
6	5/21水A	植物の生理生態②	刺激に対する応答と植物ホルモン 植物とウィルス	講義・演習
7	5/28水A	植物の生理生態③	植物の栄養 土壌や肥料の種類、性質	講義・演習
8	6/4水A	植物の進化と多様性	コケ、シダ、裸子植物、被子植物	講義・演習
9	6/11水A	植生の多様性	植生 バイオーム	講義・演習
10	6/18水A	植物の色と香り	香りの基礎知識 花の色素	講義・演習
11	6/25水A	まとめ テスト	総復習テスト	講義
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 花と緑の商品知識 I			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	花の文化			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～6月	時間数	30		単位数	1
授業概要	古くから人が花や緑とどのように関わってきたか、その歴史文化が現在の園芸ビジネスに至っていることを理解する。	到達目標	行事、花、園芸の用語を理解すること。			
担当教員 プロフィール	伊達啓子	花の歴史と文化の研究家として多くの専門誌に寄稿され、花や植物と我々の生活との関わりや文化的発展について講義する。				
	日野原健司	太田記念美術館主席学芸員。浮世絵の研究家。江戸時代の浮世絵にみる日本における園芸文化の発展を解説、講義する。				
	知地正和	小原流いけばな研究院助教授。いけばなの歴史と伝統、その技と魅力をデモンストレーションを交えてわかりやすく伝える。				
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80% レポート20% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	4/16水 PM	古代の花の文化	多神教と植物崇拜 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ、ケルトの花の文化	伊達 講義
2	4/23水 PM	中世の花の文化	イスラム園芸の影響 キリスト教と花のシンボリズム、 キリスト教の行事と花	伊達 講義
3	4/30水 PM	近世ヨーロッパの花の文化	ヨーロッパ園芸のめざめ イタリア、オランダ、フランス、イギリス	伊達 講義
4	5/7水 PM	19～20世紀の花の文化	ガーデニング熱 フラワーアレンジの変遷	伊達 講義
5	5/14水 PM	日本人の花の文化	古代から中世の流れ 花と農耕儀礼	伊達 講義
6	5/21水 PM	日本人の花の文化 筆記試験	花の行事 テスト（45～50分）	伊達 講義
7	5/28水 PM	華道の魅力	華道の歴史とその魅力について知る （後日レポート提出）	知地 講義 デモンストレーション
8	6/4水 PM	江戸の園芸	江戸園芸文化を浮世絵を通して知る （後日レポート提出）	日野原 講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワーデザイン ガーデニング フラワービジネス			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	カラーコーディネート			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月～7月	時間数	30		単位数	1
授業概要	色彩の基礎知識を習得し、花材の色合わせや造形力に活かす。	到達目標	色彩の基礎知識と配色調和を理解することを目標とする。			
担当教員 プロフィール	熊谷佳子 一般財団法人日本色彩研究所認定色彩指導者。ファッションデザインの現場を経て、カラーコーディネーターへ。企業研修においてさまざまな色彩講座を担当。パーソナルカラー分析など色彩関連の講演・講座活動も多く手掛ける。その経験をもとに、フラワーデザインにおける色彩の重要性を実践を交えた授業形式で展開していく。					
テキスト・教材	自作プリント カラー&ライフ（色研事業）新配色カード199a					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50％ レポート0％ 実技50％ 発表0％ その他（出席率・授業態度など）0％		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/13火 PM	色の仕組み①・②	色の種類と性質 PCCS(色相とトーン)・色名	講義
2	5/20火 PM	色彩科学と色の選び方	色選別に活かす 光、色の見え方などの色彩科学基礎	講義
3	5/27火 PM	色の仕組み③・④	実習「カラーサークル」 トーンと等色相面・色立体	演習・講義
4	6/3火 PM	配色のルール①	色相配色	講義
5	6/10火 PM	確認テスト① 配色の実践	確認テスト、解答・解説 実習「配色を意識したラウンドアレンジメント」	演習・講義
6	6/17火 PM	配色のルール②	トーン配色・アクセントカラー他 応用	講義
7	6/24火 PM	確認テスト② 色彩心理・売り場づくりと色	確認テスト、解答・解説 色の対比と心理的効果・ディスプレイ基礎	講義
8	7/1火 PM	色でイメージを表現する イメージ表現の実践	配色表現の応用 実習「色のイメージを意識した花束」	演習・講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワーデザイン グリーンデザイン フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸流通			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～6月	時間数	30		単位数	1
授業概要	フラワービジネス業界で働く人たちが知っておかなければならない業界の仕組みと役割及び現状と今後について理解させる。	到達目標	フラワービジネス業界の基本的な仕組みの概要と役割を理解することを目指す。また、その中でいかに知識と技術をしっかりと身に付けるべきかを理解させる。			
担当教員 プロフィール	水本寿美江 生花店勤務経験を踏まえ、花き園芸業界の仕組みを講義する					
	藤井大 仲卸会社勤務 生花・園芸仲卸の仕事について、生産者や小売店との関わりについて講義する					
	草柳智一 園芸資材商社勤務 資材卸売業の仕事内容と小売店との結び付きについて講義する					
	川本幸代 カフェを併設した生花店を経営 花カフェの魅力とその経営の実態について講義する					
テキスト・教材	自作プリント スライド					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験40% レポート40% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）20%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	4/24木 PM	園芸流通基礎①	園芸流通とは？生産から販売までの流れを知る 花き生産・園芸農家の仕事とは	講義
2	5/1木 PM	園芸流通基礎②	暮らしの歳時記と植物の関わり	講義
3	5/16金 AM	園芸流通基礎③	卸売市場の役割と仕組み	藤井・講義
4	5/22木 PM	園芸流通基礎④	花・園芸資材を扱う専門商社の役割について （レポート提出）	草柳・講義 水本・講義
5	5/23金 AM	大田市場見学	大田市場花き部見学 見学レポート提出	見学
6	5/29木 PM	園芸流通基礎⑤	冠婚葬祭と植物の関わり	講義
7	6/5木 PM	園芸流通基礎⑥	フラワーショップ経営の実際 （レポート提出）	川本・講義 水本・講義
8	6/12木 PM	園芸流通基礎⑦	消費とトレンド 消費者を理解する 暮らしの歳時記・冠婚葬祭 チェックテスト	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	花と緑の商品知識			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～1月	時間数	90		単位数	3
授業概要	生花店・園芸店で取り扱う園芸植物・資材の主要品目について、その特徴や種類、取扱い方法などについて学ぶ。	到達目標	代表的な植物や資材に対するお客様からの問に答えられる最低限の知識の習得を目標とする。出回り時期、観賞時期、店頭での主な管理方法、園芸的分類、花色など			
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。 山本裕隆 元高木伝統園芸文化振興財団学芸員。自然環境知識や盆栽技術を生かした庭園づくりを行う造園業を営む。					
テキスト・教材	プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	日時	指導項目	指導内容	備考
1	6/5木 AM	ガイダンス	フォーマットの書き方／園芸的分類	大久保 講義
2	6/12木 AM	花壇苗・鉢物①	初夏～夏に出回る植物 1	大久保 講義
3	6/19木 AM	花壇苗・鉢物②	初夏～夏に出回る植物 2／夏の植物管理	大久保 講義
4	6/26木 AM	ハーブ	人気のあるハーブとその管理	大久保 講義
5	7/3木 AM	花壇苗・鉢物③	初夏～夏に出回る植物 3	大久保 講義
6	7/10木 AM	花壇苗・鉢物④	初夏～夏に出回る植物 4	大久保 講義
7	9/4木 AM	花壇苗・鉢物⑤	夏～秋に出回る植物 1	大久保 講義
8	9/11木 AM	花壇苗・鉢物⑥	夏～秋に出回る植物 2	大久保 講義
9	9/18木 AM	花壇苗・鉢物⑦	夏～秋に出回る植物 3	大久保 講義
10	9/25木 AM	樹木①	良い苗の選び方・植え付け方	大久保 講義
11	10/2木 AM	樹木②	人気のある木本の紹介（花木・香木等）	大久保 講義
12	10/9木 AM	花壇苗・鉢物⑧	秋～冬に出回る植物 1	大久保 講義
13	10/16木 AM	花壇苗・鉢物⑨	球根植物の種類と植え付け方法	大久保 講義
14	10/23木 AM	花壇苗・鉢物⑩	秋～冬に出回る植物 2	大久保 講義
15	10/30木 AM	多肉植物・サボテン	多肉・サボテンとは／主な管理方法	大久保 講義
16	11/6木 AM	山野草①	山野草とは	山本 講義
17	11/13木 AM	山野草②・盆栽	山野草の管理・盆栽について	山本 講義
18	11/20木 AM	花壇苗・鉢物⑪	秋～冬に出回る植物 3	大久保 講義
19	11/27木 AM	園芸資材	用土、肥料、農薬、容器 ほか	大久保 講義
20	12/4木 AM	花壇苗・鉢物⑫	年末商品	大久保 講義
21	12/11木 AM	花壇苗・鉢物⑬	冬～初春に出回る植物 1	大久保 講義
22	1/15木 AM	花壇苗・鉢物⑭	冬～初春に出回る植物 2／冬の植物管理	大久保 講義
23	1/22木 AM	花壇苗・鉢物⑮	冬～初春に出回る植物 3	大久保 講義
他教科との関連 グリーンデザイン フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	グリーンデザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～10月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	園芸作業の基礎知識の学習と寄せ植えなどの制作技術の基本を学び、指導できるレベルを目指す。	到達目標	園芸作業を行うために必要な基礎知識と制作技術の習得は必須である。			
担当教員 プロフィール	グリーンアドバイザー（園芸ソムリエ）・ハンギングバスケットマスター 中道光子 日比谷公園内企業花壇の管理指導、花育活動や福祉施設での園芸療法、家庭園芸の普及指導など長年にわたる指導の経験から、園芸作業の基礎をわかりやすく講義・実践指導する。					
テキスト・教材	園芸・植物用語集（淡交社）・自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート30% 実技30% 発表30% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月 日	指導項目	指導内容	備考
1	6/10火AM 6/17火AM	園芸基礎作業①	用土・肥料・鉢・管理の基本	講義・演習 6/10：FD 6/17：BF
2	6/24火AM 7/1火AM	園芸基礎作業②	種まき	講義・演習 AM：FD PM：BF
3	7/8火 AM・PM	小作品制作①	日当たりを好む植物の寄せ植え	講義・演習 AM：FD PM：BF
4	7/15火 AM・PM	園芸基礎作業③	株分け	講義・演習 AM：FD PM：BF
5	7/22火 AM・PM	小作品制作②	水生植物について・苔について（苔玉）	講義・演習 AM：FD PM：BF
6	9/9火 AM・PM	小作品制作③	多肉植物・サボテンの寄せ植え	講義・演習 AM：FD PM：BF
7	9/16火 AM・PM	小作品制作④	日陰を好む植物の寄せ植え	講義・演習 AM：FD PM：BF
8	9/30火 AM・PM	小作品制作⑤	季節の寄せ植え（ペットハンギング）	講義・演習 AM：FD PM：BF
9	10/7火 AM・PM	小作品制作⑥	球根植物の寄せ植え	講義・演習 AM：FD PM：BF
10	10/14火 AM・PM	小作品制作⑦	まとめ（各自のテーマでの寄せ植え）	講義・演習 AM：FD PM：BF
11	10/21火 PM	イベント見学	日比谷公園ガーデニングショー	見学 全員
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 グリーンコーディネート ガーデニング			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 同じ内容の授業を、コース別に分けて行う 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	時事教養			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	現代社会の諸問題について、その背景と課題を考えていく力をつける。 生活環境・文化についても関心を深め知識の向上を図る。	到達目標	各テーマで提示される資料やデータを読み取ることができる。 問題の背景を指摘し、自分なりの考えを表現できるようにする。			
担当教員 プロフィール	堀切昌美 通信制高校や専門学校などで文章・言語表現の指導、ディスカッション指導の経験を持つ。世間で関心の高い時事問題を取り上げ、グループ・ディスカッションを通して問題を掘り下げ考える力と自分なりの考えを表現できる力を養う授業をおこなう。					
テキスト・教材	新聞・雑誌・政府刊行物・自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験80％ レポート0％ 実技0％ 発表20％ その他（出席率・授業態度など）0％		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月 日	指導項目	指導内容	備考
1	9/3水 1限	授業ガイダンス	自己紹介 授業の進め方 アイスブレイクゲーム	講義・演習
2	9/10水 1限	VUCAの時代	人生100年時代と言われる現代社会を考える	講義・演習
3	9/17水 1限	社会人基礎力について	専門学校で身につけておきたいこと 学ぶということ	講義・演習
4	9/24水 1限	少子高齢化	日本の人口減少問題を与える背景と今後について	講義・演習
5	10/1水 1限	グローバル化	メリット・デメリット 視点の持ち方 第1回 小テスト実施（15点）	講義・演習
6	10/8水 1限	IT化 デジタル社会	ICT利活用 IoTについて	講義・演習
7	10/15水 1限	格差について	生活格差 経済格差など ○○格差について	講義・演習
8	10/22水 1限	差別と偏見	身近なところから考えてみる LGBT ジェンダーなど	講義・演習
9	10/29水 1限	SDG s	持続可能社会を考える 第2回 小テスト実施(15点)	講義・演習
10	11/5水 1限	環境とエネルギー	食品ロス カーボンニュートラル	講義・演習
11	11/12水 1限	プレゼン計画	第2回～第10回のテーマからプレゼンテーマを決める	講義・演習
12	11/19水 1限	プレゼンテーション① （個人orグループ発表）	ポイントを整理し、考察を織り交ぜ発表する 1人3～5分 PowerPoint 紙芝居 その他発表形式自由	講義・演習
13	11/26水 1限	プレゼンテーション② （個人orグループ発表）	ポイントを整理し、考察を織り交ぜ発表する 1人3～5分 PowerPoint 紙芝居 その他発表形式自由	講義・演習
14	12/3水 1限	授業振り返り	グループワーク コンセンサスゲーム	講義・演習
15	12/10水 1限	総括	まとめテスト実施（持ち込み可・30点）	講義
他教科との関連 ビジネスマナー インターンシップ			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(1コマ)90分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネス能力検定3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～12月	時間数	30		単位数	1
授業概要	現代の職業社会が必要とするビジネス能力の基礎を学び、ビジネス能力検定3級の合格を目指す。	到達目標	ビジネス能力検定3級試験に合格することを目標とする			
担当教員 プロフィール	自身の販売員としての社会経験と就職対策講師としての経験をもとに、大学・専門学校などでビジネス能力検定試験対策講座の非常勤講師を務めている。ケーススタディをベースに分かりやすく講義、合格率100パーセントを目指す。					
テキスト・教材	ビジネス能力検定「ジョブパス」3級 2025年度版（実教出版）					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月 日	指導項目	指導内容	備考
1	9/3水 2限	オリエンテーション	自己紹介、授業で学ぶこと	講義
2	9/10水 2限	キャリアと仕事へのアプローチ①	組織人としての重要な心構え	講義
3	9/17水 2限	キャリアと仕事へのアプローチ②	指示の受け方と報告・連絡・相談	講義
4	9/24水 2限	ビジネスマナーの基本	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	講義
5	10/1水 2限	仕事への取り組み	マニュアル化、スケジュール管理 小テスト①	講義・演習
6	10/8水 2限	会社活動の基本	組織について、役割	講義
7	10/15水 2限	ビジネス文書の基本	社内文書と社外文書	講義
8	10/22水 2限	授業の振り返り	ビジネス用語の確認	講義
9	10/29水 2限	過去問に挑戦①	ビジネスの基本分野の復習	講義
10	11/5水 2限	過去問に挑戦②	新聞記事とケースの問題 小テスト②	講義・演習
11	11/12水 2限	統計データの読み方	数値把握、手順	講義
12	11/19水 2限	会社数字の読み方	基礎知識	講義
13	11/26水 2限	過去問に挑戦③	演習	講義・演習
14	12/3水 2限	授業まとめ	単位認定試験	講義・演習
15	12/10水 2限	実践編	「会社ゲーム」から考える	講義・演習
他教科との関連 ビジネスマナー 時事教養		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(1コマ)90分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	グリーンコーディネート			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数	30		単位数	1
授業概要	インテリアプランツ（観葉植物）についての基礎知識を学び、それらをコーディネートすることでより良い空間をデザインする技術を学ぶ。自然の植物との関わり方、管理を学ぶ。	到達目標	インテリアプランツ（観葉植物）の特性を知り、その基本的な管理方法を理解することが目標である。			
担当教員 プロフィール	グリーンアドバイザー（園芸ソムリエ）・ハンギングバスケットマスター 中道光子 家庭園芸の普及指導、インテリアグリーンの普及活動など長年にわたる経験から、観葉植物の楽しみ方を多くの方に知ってもらうためのノウハウを指導する。					
テキスト・教材	観葉植物百科（テキスト）・自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート30% 実技30% 発表30% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/5金 AM	オリエンテーション グリーンコーディネートについて	自己紹介 授業内容と進め方 知っている観葉植物についてレポートにまとめる	講義
2	9/12金 AM	グリーンインテリアの基礎①	インドアグリーンとして使用する植物を知る （樹形、色彩、管理）	講義
3	9/19金 AM	グリーンインテリアの基礎②	10種類を選び、自分だけのミニ図鑑作成	講義・演習
4	9/26金 PM	仲卸見学	㈱村田永楽園見学	見学
5	10/3金 AM	プレゼンボード作成①	新聞のチラシなどを利用し、建物の図面作成	演習
6	10/10金 AM	プレゼンボード作成②	図面に植物を記入	演習
7	10/17金 AM	テラリウム作成	用土づくり、植えこみ、管理	演習
8	10/24金 AM	プレゼンボード発表	1人ずつプレゼンテーション	演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ガーデニング			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月	時間数	30		単位数	1
授業概要	ガーデニング（家庭園芸）の現状を把握し、基礎知識を学ぶ。植物・資材の選択に必要な要素と各々の特色を学ぶ。植物画を描いて、観察する力を養う。コロナ下において新しいガーデニングの発信力を身につける。	到達目標	環境に適した植物の選択ができる。 植物画を描くことで、植物の特徴を理解する。 切り花ではない育てる園芸に興味を持つ。			
担当教員 プロフィール	園芸関連イベント等での講師をはじめ、住宅関連企業、集合住宅等で家庭園芸の普及活動が続けてきた経験から、「楽しく簡単に華やかに育てる」をモットー に年齢や場所に関係なく植物と触れ、育て、楽しめるガーデニング、植物選び、メンテナンス法などの指導を講義・演習する。					
テキスト・教材	園芸・植物用語集 ・ 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験5% レポート30% 実技20% 発表5% その他（出席率・授業態度など）40%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/4木 PM	ガーデニングとは?①	現代日本のガーデニング事情 課題：植物のデッサン（花材1人1本）/レポート	講義・演習
2	9/11木 PM	ガーデニングとは?②	ガーデニングの歴史（西洋・日本） 課題：江戸時代のガーデニング レポート	講義
3	9/18木 PM	植物について	植物の種類と庭での活用法 課題：樽コンテナの寄せ植え計画 レポート	講義
4	9/25木 PM	庭のデザイン①	庭のデザインの考え方・方法論 課題：デザイン模型作り実習	講義・演習
5	10/2木 PM	庭のデザイン②	庭を構成する資材・エクステリア 課題：デザイン模型作り実習	講義・演習
6	10/16木 PM	寄せ植えの基礎知識と実践	ミニコンテナの寄せ植え（実習） 課題：寄せ植えまとめ レポート	講義
7	10/23木 PM	ガーデニングの展望	商業施設・壁面・屋上緑化・園芸療法 課題：グループワーク レポート	講義・演習
8	10/30木 PM	庭の見学	庭の見学（代々木公園 Tokyo Park Garden Award見学予定） 課題：見学レポート	見学
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 グリーンデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業 レポート提出必須

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネスマナー			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	11月～2月	時間数	45		単位数	1
授業概要	ビジネスの基本とコミュニケーションについて学ぶ。自分自身について理解を深めることを通して、多様な人々とコミュニケーションをとれる人材、社会に適応できる人材の育成を目指す。	到達目標	コミュニケーションの重要性、ビジネスマナーの意味を理解する。自分の言葉で伝える力を身に付ける。自分にとっての「働く」意味を考え、長期のキャリアビジョンを考える。			
担当教員 プロフィール	高校生・大学生を対象としたキャリアカウンセリングや就職指導に長年携わり、また民間企業の就職面接官を勤めるなどの経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。国家資格キャリアコンサルタントほか、専門資格を多数保有。					
テキスト・教材	テキスト「ゼロから教えて ビジネスマナー」 自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験50% レポート15% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）35%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月 日	指導項目	指導内容	備考
1	11/6木 PM	オリエンテーション 組織で働くとは？	1. 全11回の流れ、受講の約束、評価基準、自己紹介 2. 学生と社会人の違いを知る 3. 就活スケジュール	講義・演習
2	11/13木 PM	キャリアビジョンを考える 自己分析① ～働く意味を考える～	1. キャリアビジョンについて考える 2. 自分にとっての「働く意味」を考える 3. WILL・CAN・MUSTを明確にする	講義・演習
3	11/20木 PM	自己分析② ～強みを明確する～	1. 自己PRで求められていること 2. 自分の強みを考える 3. 自己PRを書いてみる	講義・演習
4	11/27木 PM	自己分析③ ～価値観を明確にする～	1. リフレーミングを学ぶ 2. 価値観を明確にする（価値観ババ抜き）	講義・演習
5	12/4木 PM	企業研究と求人検索	1. さまざまな業界について知る 2. 花き業界について調べ、理解する 3. 企業選びで大切にしたいこと（働く意味）を考える	講義・演習
6	12/11木 PM	履歴書とエントリーシートの書き方	1. 企業側の視点を知る 2. 履歴書の書き方を知る 3. エントリーシートの基本を知る	講義・演習
7	12/18木 PM	コミュニケーション ビジネスマナーの基本① ～傾聴力を磨く～	1. コミュニケーションとマナー 2. 第一印象で差をつけよう（メラビアンの法則） 3. 社会人としての話の聴き方	講義・演習
8	1/15木 PM	ビジネスマナーの基本② ～伝える力を磨く～	1. 敬語の基本を学ぶ、クッション言葉の活用 2. 伝わる伝え方（PREP法） 3. 電話対応の基本	講義・演習
9	1/22木 PM	ビジネスマナーの基本③ ～ビジネスメールと報連相～	1. ビジネスメールの基本 2. 報連相の重要性	講義・演習
10	1/29木 PM	ビジネスマナーの基本④ ～チームビルディング～	1. 働く上でのチームワーク、チーム内での役割 2. チームビルディングワーク	講義・演習
11	2/5木 PM	まとめとテスト	1. まとめと質疑応答 2. 理解度テスト 3. 就活スケジュール確認	講義・演習
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 インターンシップ フラワービジネス			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月～3月	時間数	120		単位数	4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	最低限、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を確実なものとする ことが目標である。			
担当教員 プロフィール	学生の就職活動指導を行う教務副部長の立場で、受け入れ先企業と連携して各コースの学生に求められる各分野ごとの基礎技術・社会人としての素養が身に付いているか実務経験を通して総合的に判断し指導する。 小池智子					
テキスト・教材						
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する 筆記試験0% レポート50% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）50%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が40点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	12/19金 AM	インターンシップ指導	インターンシップに臨む心構え インターンシップ先希望調査	
2	1/16金 PM	インターンシップ指導	インターンシップ先企業選定 インターンシップを就職活動に活かすには	
3	2/24火 3限	インターンシップ指導	インターンシップ先企業決定 受け入れ先企業への連絡の仕方・お礼状の書き方	
4				
5		インターンシップ 3月5日（木）～21日（土）	期間中実動12日間、花き園芸業界で実務を経験する	
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワーデザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	240		単位数	8
授業概要	基本的な知識と技術をベースに、より実践的な装飾方法や応用技術・企画の仕方などを習得する。	到達目標	1年次に学んだ基礎技術を発展させ、お客様のご要望に沿った企画・商品制作ができるようにすることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	小池智子 元生花店勤務 基礎技術や資格を活かし、即戦力となるフローリスト養成に向けた授業を展開。					
	有菌直美 スクール主宰 様々な現場経験やコンテスト受賞履歴を活かした実践的授業を展開。					
	熊谷佳子 パーソナルカラー診断の実践経験をもとに、個人の個性と花の色合わせを、理論と実践で指導。					
	今野亮平 ギフト商品販売会社経営 ディスプレイ装飾の実践や特殊資材を用いた商品の制作技術を指導。					
	高野真樹子 実習店舗や生花店での勤務経験をもとに、お客様目線での商品の企画デザイン・アイディアを実践指導。					
	武田千菜 ドイツで学び、生花店勤務経験で得たドイツデザインの基本を、理論と実践で指導。					
	中三川聖次 アトリエ主宰 切花仕入れ担当や輸入会社のオランダ業務・検疫担当等の経験を活かし、実践的授業を展開。					
	花井茂 生花店経営・デザイナー 葬儀の花、店頭での商品制作など実践に基づいた技術指導を行う。					
	峰岸喬 生花店経営・フローリスト 大手結婚式場に勤務した経験と経営者としての立場から、実践に基づいた技術指導。					
レン・オークメイド 国内外で数々のデモ・イベント装飾を行うオランダマスターフローリストが、デザイン技術を実践指導。						
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート10% 実技85% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画					
回	日時	指導項目	指導内容	備考	
1	4/16(水) AM	基礎復習①	花材別水揚げ方法の復習	小池 講義・演習	
2	4/16(水) PM	基礎復習②	花束、アレンジメント、ラッピング	小池 演習	
3	4/23(水) AM	基礎復習③	オールラウンドアレンジメント・花束	小池 演習	
4	4/23(水) PM	基礎復習④	ワンサイドアレンジメント・花束	小池 演習	
5	4/30(水) AM	模擬店舗①	母の日に向けて（水揚げしてから使用する）	高野 講義・演習	
6	4/30(水) PM	模擬店舗②	予算・用途に合わせた花束、アレンジメント	高野 演習	
7	5/14(水) AM	パーソナルカラー①	パーソナルカラーを意識した花合わせ・色合わせ	熊谷 講義・演習	
8	5/14(水) PM	パーソナルカラー②	パーソナルカラーを意識した花束、アレンジメント	熊谷 演習	
9	5/21(水) AM	模擬店舗③	予算・用途に合わせた花束、榊の組み方	花井 講義・演習	
10	5/21(水) PM	模擬店舗④	予算・用途に合わせた花束、アレンジメント	花井 講義・演習	
11	5/28(水) AM	ヨーロッパデザイン①	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習	
12	5/28(水) PM	ヨーロッパデザイン②	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習	
13	6/4(水) AM	ヨーロッパデザイン③	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習	

14	6/4(水) PM	ヨーロッパデザイン④	ドイツデザインの基本的理論	武田 講義・演習
15	6/11(水) AM	デザイナーによる ワークショップDay①	デモンストレーション見学	有菌 講義・演習
16	6/11(水) PM		個人での作品制作 講評	有菌 講義・演習
17	6/18(水) AM	フローリストによる ワークショップDay①	デモンストレーション見学	峰岸 講義・演習
18	6/18(水) PM		個人での作品制作 講評	峰岸 講義・演習
19	7/2(水) AM	基礎テスト①	テスト：花束、アレンジメント	小池 演習
20	7/2(水) PM	基礎テスト②	テスト：ホルダーブーケ・ブートニア	小池 演習
21	7/9(水) AM	商品制作①	プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
22	7/9(水) PM	商品制作②	プリザーブドフラワーの取り扱い方	今野 講義・演習
23	7/16(水) AM	空間装飾の仕事①	空間装飾・ディスプレイの仕事	今野 講義・演習
24	7/16(水) PM	空間装飾の仕事②	グループワークによる空間装飾	今野 講義・演習
25	7/17(木) AM	活けこみ実習①	現場下見	高野 講義
26	7/18(金) PM	活けこみ実習②	装飾デザイン考案	高野 講義
27	9/3(水) AM	パーソナルカラー③	パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ	熊谷 講義・演習
28	9/3(水) PM	パーソナルカラー④	パーソナルカラーを意識した4つのコサージュ 春・夏・秋・冬	熊谷 講義・演習
29	9/10(水) AM	デザイナーによる ワークショップDay②	デモンストレーション見学	中三川 講義・演習
30	9/10(水) PM		個人での作品制作・講評	中三川 講義・演習
31	9/11(木) PM	活けこみ実習③	装飾デザイン考案・完成	高野 講義
32	9/17(水) AM	デザインの発想と構築①	説明・トレーニング	小池 演習・講義
33	9/17(水) PM	デザインの発想と構築②	トレーニング・思考・発表準備	小池 演習・講義
34	9/18(木) PM	デザインの発想と構築③	スケッチブックを使用して発表 グループワークミーティング	小池 演習・講義
35	9/24(水) AM	資材類の扱い方①	資材屋にて資材購入	高野 講義
36	9/24(水) PM	資材類の扱い方②	グループワーク用材料購入、制作	高野 演習
37	9/25(木) PM	資材類の扱い方③	資材購入した分のグループワーク	高野 演習
38	10/2(木) AM	フローリストによる ワークショップDay②	①を踏まえての発展	峰岸 講義・演習
39	10/2(木) PM		個人での商品制作 講評	峰岸 講義・演習
40	10/3(金) AM	デザインの発想と構築④	グループワーク まとめ、発表	小池 講義
41	10/3(金) PM	活けこみ実習④	装飾プレゼンテーション準備	高野・小池 講義
42	10/9(木) AM	活けこみ実習⑤	プレゼンテーション	高野・小池 講義

43	10/22(水) AM	ヨーロッパデザイン テクニック①②	オランダマスターフローリストのデモンストレーション見学	レン・オークメイド 講義・演習
44	10/22(水) PM		多種多様な資材を使った作品制作	レン・オークメイド 講義・演習
45	10/24(金) AM	活けこみ実習⑥	装飾花材発注	高野・小池 講義
46	10/29(水) AM	お祝い花①	お祝いの贈り花	花井 講義・演習
47	10/29(水) PM	お祝い花②	お祝いのスタンド花1段・2段、アレンジメント	花井 演習
48	11/27(木) AM	活けこみ実習⑦	装飾制作	高野・小池 演習
49	11/27(木) PM	活けこみ実習⑧	装飾納品	高野・小池 演習
50	11/28(金) AM	活けこみ実習⑨	装飾メンテナンス	高野 演習
51	12/4(木) AM	ウィンドウディスプレイ	クリスマス装飾・お正月装飾	小池 演習
52	12/4(木) PM	活けこみ実習⑩	装飾撤去、片付け、反省会	高野 演習
53	12/10(水) AM	模擬店舗⑤	花束、アレンジメント	高野 演習
54	12/10(水) PM	模擬店舗⑥	花束、アレンジメント	高野 演習
55	1/14(水) AM	模擬店舗⑦	花束、アレンジメント	小池 演習
56	1/14(水) PM	模擬店舗⑧	花束・アレンジメント	小池 演習
57	1/21(水) AM	テスト：模擬店舗⑨	テスト：花束、アレンジメント	小池 演習
58	1/21(水) PM	テスト：模擬店舗⑩	テスト：花束、アレンジメント	小池 演習
59	1/22(木) AM	模擬店舗（総まとめ）	2年間の総まとめ	小池 演習
60	1/22(木) PM		花束、アレンジメント、ブーケ、ワイヤリングテクニック等	小池 演習
他教科との関連 フラワービジネス ブライダルフラワー			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	フラワービジネス		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	通年	時間数	90時間	単位数	3
授業概要	園芸実務に必要な接客技術やマナーをはじめ、包装技術など販売促進に繋がる技術の応用を学ぶ。また、花業界に関わりのある様々な仕事に就いている先生の話や卒業生の体験談を聞き、フラワーショップや園芸店の経営の要点や実際に学ぶ。	到達目標	生花店運営における実務内容の理解度を深め、実習・演習を通してマーケティングの視点からフラワービジネスを理解することを目指す。		
担当教員 プロフィール	武田千菜 元大手生花店・本校実習店舗での勤務経験から販売員として必要な接客マナーと技術を指導				
	水本寿美江 元生花店勤務の経験から、商品管理、陳列など実践に基づいた授業展開を行う				
	佐貫一恵 元大手生花店勤務 本校実習店舗チーフとして、豊富な経験をもとに学生の実習指導にあたる				
	高野真樹子 本校卒業生で元生花店販売員 本校実習店舗にて接客や商品制作の指導にあたる				
	所奈津美 元大手生花店勤務 全国チェーンの店舗展開の生花店の仕事、経営の実態について講義する				
テキスト・教材	自作プリント 園芸ビジネス フラワーデザイナーのための花の教科書 水揚げ＆花のケア				
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験30% レポート25% 実技40% 発表0% その他（出席率・授業態度など）5%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	

授 業 計 画					
回	日付	指導項目	指導内容	備考	
1	4/17木 PM	園芸ビジネス 包装の種類と技術①	接客マナーの復習 鉢物ラッピングバリエーションと宅配梱包作業実践	武田 講義・演習	
2	4/24木 PM	園芸ビジネス 包装の種類と技術②	接客マナーの復習 花束制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習	
3	5/1木 PM	園芸ビジネス 包装の種類と技術③	接客マナーの復習 アレンジ制作とラッピングバリエーション実践	武田 講義・演習	
4	6/16火 AM	園芸ビジネス 復習	接客サービスと商品管理・花贈りのマナーの基本 1年次の復習とチェックテスト	水本 講義	
5	6/30月 PM	ショップ経営①	生花店経営の実際①	(水本 講義)	
6	7/7月 PM	ショップ経営②	生花店経営の実際②	(水本 講義)	
7	7/22火 8/29金	品種名テスト 第1回 水揚げ116種テスト 第1回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・出回り時期・水揚げ方法 279点以上	水本 講義	
8	9/1月 AM	販売促進① 求められる人材	お客様から求められる販売員になるために必要な物と自己分析	所 講義・演習	
9	9/4木 PM	ショップ経営③	ギフトショー見学	見学	
10	9/8月 AM	販売促進② 商品企画の考え方	季節商品やオリジナル商品を作る時の考え方と進め方	所 講義・演習	
11	9/22月 AM	販売促進③ 売り場の魅せ方	店舗とイベントの違いの理解	所 講義・演習	
12	10/16木 AM	プリザーブドフラワー商品制作①	説明・企画	高野 講義	
13	10/23木 AM	プリザーブドフラワー商品制作②	企画	高野 講義	
14	10/30木 AM	プリザーブドフラワー商品制作③	材料購入	高野 講義・演習	
15	11/6木 AM	プリザーブドフラワー商品制作④	制作	高野 講義・演習	
16	11/6木 PM	プリザーブドフラワー商品制作⑤	制作	高野 講義・演習	
17	11/7金 AM	プリザーブドフラワー商品制作⑥	まとめ	高野 講義	
18	12/23火 1/9金	品種名テスト 第2回 水揚げ116種テスト 第2回	バラ60種・カーネーション20種・ガーベラ20種以上 植物名・科名・出回り時期・水揚げ方法 279点以上	水本 講義	
19	各自 担当日	店舗実習①	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習	
20	各自 担当日	店舗実習②	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習	
21	各自 担当日	店舗実習③	実習店舗で実務を行う（3コマ270分授業）	佐貫・高野 実習	
他教科との関連 フラワーデザイン インターンシップ		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業	

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸実習			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース A	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	120		単位数	4
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上（MSK）本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。	到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。					
	高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート20% 実技30% 発表30% その他（出席率・授業態度など）20%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

回	日付	指導項目	指導内容	備考
1	4/14月 PM	花壇・菜園植栽管理①	栽培準備	鈴木 講義・演習
2	4/21月 PM	花壇・菜園植栽管理②	夏野菜の植え付け・花壇の整理	鈴木 演習
3	4/28月 PM	花壇・菜園植栽管理③	夏野菜の支柱立て・花壇の植え替え	鈴木 演習
4	5/12月 PM	花壇・菜園植栽管理④	夏野菜のメンテナンス・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
5	5/19月 PM	花壇・菜園植栽管理⑤	夏野菜のメンテナンス・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
6	5/26月 AM	インドアガーデニング計画	観葉植物の育て方と植栽計画	鈴木 講義・演習
7	6/2月 PM	インドアガーデニング コーディネート	観葉植物の植え替え	鈴木 演習
8	6/9月 PM	インドアガーデニング メンテナンス	観葉植物のメンテナンス	鈴木 講義
9	6/16月 PM	花壇・菜園植栽管理⑥	夏野菜の収穫・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
10	6/23月 AM	花壇・菜園植栽管理⑦	夏野菜の収穫・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
11	6/30月 AM	花壇・菜園植栽管理⑧	夏野菜の収穫・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
12	7/7月 AM	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業についての解説	鈴木 演習
13	7/14月 AM	指導実践②	模擬授業（プレゼン）のテーマ決定	鈴木 講義
14	9/1月 PM	指導実践③	学生による模擬授業（プレゼン）発表 （1人30分・5名）	鈴木 演習
15	9/8月 PM	指導実践④	学生による模擬授業（プレゼン）発表 （1人30分・4名）	鈴木 演習

16	9/16火 PM	ベランダガーデニング①	ベランダガーデニングとは	高山 講義
17	9/23火 PM	ベランダガーデニング②	秋のベランダ植栽計画	高山 講義
18	10/7火 PM	ベランダガーデニング③	植え替え実習	高山 演習 ジロール麴町
19	10/21火 PM	ベランダガーデニング④	草花の選び方について学ぶ 培養土について学ぶ	高山 講義
20	10/28火 PM	ベランダガーデニング⑤	ベランダ・花壇のデザインについて学ぶ 企画と提案方法について学ぶ	高山 講義
21	11/4火 PM	ベランダガーデニング⑥	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麴町
22	11/25火 PM	ベランダガーデニング⑦	ベランダ・花壇の管理方法について学ぶ 肥料について学ぶ	高山 講義
23	12/2火 PM	ベランダガーデニング⑧	病害虫の防除について学ぶ プランニング発表	高山 講義
24	12/9火 PM	ベランダガーデニング⑨	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麴町
25	12/16火 PM	ベランダガーデニング⑩	工具の使い方を学ぶ DIY実習	高山 演習
26	12/23火 PM	ベランダガーデニング⑪	メンテナンス作業	高山 演習 学校
27	1/13火 PM	ベランダガーデニング⑫	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麴町
28	1/20火 PM	ベランダガーデニング⑬	早春のベランダ植栽計画	高山 演習
29	1/27火 PM	ベランダガーデニング⑭	まとめ	高山 演習
30	2/3火 PM	ベランダガーデニング⑮	植え替え実習	高山 演習 ジロール麴町
他教科との関連 グリーンデザイン 花と緑の商品知識			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業 天候により授業内容の入れ替えあり

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	園芸実習			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 フラワーデザインコース B	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	通年	時間数	120		単位数	4
授業概要	学校のベランダやエントランス、三井住友海上（MSK）本社前花壇や屋上菜園を実習場所とし、花壇作成・メンテナンスなどの作業を通して園芸用具の使い方や土づくりなどの知識と技術の習得を目指す。	到達目標	園芸作業を実践することにより、植物の栽培作業方法の基本を理解できるようにすることを目標とする。			
担当教員 プロフィール	鈴木靖子 元園芸用薬品類製造販売会社勤務。現在はフリーランスで、一般園芸愛好家への園芸指導や個人宅のガーデン施工を行っている。その経験をもとに、花壇施工、寄せ植え制作など実践指導する。					
	高山徹也 本校卒業生。卒業後、園芸店などで実務経験を積んだ後、ガーデニングショップをオープン。数多くの植栽・ガーデニング工事を手掛けた経験から、より実践的な内容で授業展開を行う。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート20% 実技30% 発表30% その他（出席率・授業態度など）20%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

回	日付	指導項目	指導内容	備考
1	4/15火 PM	ベランダガーデニング①	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麹町
2	4/22火 PM	ベランダガーデニング②	ベランダガーデニングとは	高山 講義
3	5/13火 PM	ベランダガーデニング③	初夏のベランダ植栽計画	高山 講義
4	5/20火 PM	ベランダガーデニング④	植え替え実習	高山 演習 ジロール麹町
5	5/27火 PM	ベランダガーデニング⑤	草花の選び方について学ぶ 培養土について学ぶ	高山 講義
6	6/3火 PM	ベランダガーデニング⑥	ベランダ・花壇のデザインについて学ぶ 企画と提案方法について学ぶ	高山 講義
7	6/10火 PM	ベランダガーデニング⑦	ベランダ・花壇の管理方法について学ぶ 肥料について学ぶ	高山 講義
8	6/17火 PM	ベランダガーデニング⑧	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麹町
9	6/24火 PM	ベランダガーデニング⑨	病害虫の防除について学ぶ プランニング発表	高山 講義
10	7/1火 PM	ベランダガーデニング⑩	工具の使い方を学ぶ DIY実習	高山 演習
11	7/8火 PM	ベランダガーデニング⑪	メンテナンス作業	高山 演習 学校
12	7/15火 PM	ベランダガーデニング⑫	盛夏のベランダ植栽計画	高山 講義
13	7/22火 PM	ベランダガーデニング⑬	植え替え実習	高山 演習 ジロール麹町
14	9/2木 PM	ベランダガーデニング⑭	メンテナンス作業	高山 演習 ジロール麹町
15	9/9月 PM	ベランダガーデニング⑮	まとめ	高山 講義

16	9/22月 PM	花壇・菜園植栽管理①	夏の植物の片づけ	鈴木 演習
17	9/29月 PM	花壇・菜園植栽管理②	秋野菜の植え付け・花壇の整理	鈴木 演習
18	10/6月 PM	花壇・菜園植栽管理③	秋野菜のメンテナンス・花壇の植え替え	鈴木 演習
19	10/20月 PM	花壇・菜園植栽管理④	秋野菜のメンテナンス・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
20	10/31金 PM	花壇・菜園植栽管理⑤	秋野菜のメンテナンス・花壇のメンテナンス	鈴木 講義
21	11/7金 PM	インドアガーデニング計画	観葉植物の育て方と植栽計画	鈴木 演習
22	11/28金 PM	インドアガーデニング コーディネート	観葉植物の植え替え	鈴木 演習
23	12/5金 PM	インドアガーデニング メンテナンス	観葉植物のメンテナンス	鈴木 演習
24	12/12金 PM	花壇・菜園植栽管理⑥	秋野菜の収穫・花壇の植え替え	鈴木 演習
25	12/19金 PM	花壇・菜園植栽管理⑦	秋野菜の収穫・花壇のメンテナンス	鈴木 講義・演習
26	1/9金 PM	花壇・菜園植栽管理⑧	冬野菜の収穫・花壇のメンテナンス	鈴木 演習
27	1/16金 PM	小型コンテナ 指導実践①	小型コンテナ寄せ植え制作 模擬授業についての解説	鈴木 演習
28	1/23金 PM	指導実践②	模擬授業（プレゼン）のテーマ決定	鈴木 演習
29	1/30金 PM	指導実践③	学生による模擬授業（プレゼン）発表 （1人30分・5名）	鈴木 演習
30	2/6金 PM	指導実践④	学生による模擬授業（プレゼン）発表 （1人30分・4名）	鈴木 演習
他教科との関連 グリーンデザイン 花と緑の商品知識			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業 天候により授業内容の入れ替えあり

東京テクノ・ホルティ園芸専門学校

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	花と緑の商品知識			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～9月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	主な植物の種類や性質の把握 季節に応じた草花・花木・鉢物などの商品知識・店頭管理や栽培の基礎知識の習得	到達目標	代表的な植物や資材に対する顧客からの最低限の問いに答えられる程度の知識の習得（出回り時期、観賞時期、管理方法、園芸的分类、花色など）			
担当教員 プロフィール	大久保茂徳 生花・園芸販売企業で販売員として、また大手ホームセンターの園芸相談員として勤務した経験があり、実務経験に基づいた園芸商品の取り扱い方法を講義する。					
	鈴木靖子 ガーデナーとして家庭菜園における野菜栽培の基礎知識を指導。					
	草間祐輔 園芸研究家 家庭園芸での薬剤の使い方について実践的な指導を行う。					
テキスト・教材	植物の病気と害虫 防ぎ方・直し方（主婦の友社）・自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート100% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画				
回	日付	指導項目	指導内容	備考
1	4/10木 AM	花壇苗・鉢物①	春～初夏に出回る植物 1	大久保 課題
2	4/17木 AM	樹木①	春～初夏に園芸店に出回る花木 1	大久保 課題
3	4/24木 AM	花壇苗・鉢物②	春～初夏に出回る植物 2	大久保 課題
4	5/1木 AM	樹木②	春～初夏に出回る花木 2	大久保 講義
5	5/15木 AM	花壇苗・鉢物③	カラーリーフ・芝生・下草	大久保 講義
6	5/22木 AM	花壇苗・鉢物④	春～初夏に園芸店に出回る植物 3	大久保 講義
7	5/29木 AM	花壇苗・鉢物⑤	初夏～夏に出回る植物 復習	大久保 講義
8	9/4木 AM	野菜類①	野菜の原産地・連作障害と作付け計画 いろいろな栽培法	鈴木 講義
9	9/11木 AM	野菜類②	各季節に出回る主要野菜	鈴木 講義
10	9/18木 AM	土・肥料・薬品①	病害虫に対する薬品の種類と使用上の注意点	草間 講義
11	9/25木 AM	土・肥料・薬品②	植物に適した土や肥料の選び方	草間 講義
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワービジネス		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	ビジネスマナー			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	4月～6月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	就職活動に際しての履歴書、志望動機の書き方、自己PR、面接の受け方、社会人としての心構えを学ぶ。また、社会人としての確かな生活設計を立てるために保険や年金などお金のことを学ぶ。	到達目標	自信を持って自己PRができるようにする 的確な言葉遣いができるようにする 文章力と表現力を身に付ける 税金や社会保障の仕組みを理解する			
担当教員 プロフィール	遠藤由紀	高校生・大学生を対象としたキャリアカウンセリングや就職指導に長年携わり、また民間企業の就職面接官を勤めるなどの経験をもとに、社会人としての基本マナーなどを実践を交えて指導する。				
	森川敏彦	ファイナンシャル・プランナーの視点から税金・社会保障の仕組みを分かりやすく講義。ゆとりあるライフプランと働き方について考える。				
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験10％ レポート25％ 実技0％ 発表0％ その他（出席率・授業態度など）65％		認定基準		出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。	

授 業 計 画					
回	日付	指導項目	指導内容	備考	
1	4/11金 AM	今期のオリエンテーション 自己PR/志望動機を考える①	1. 授業の目的、全9回の流れ、受講の約束、評価基準 2. 1年次学年末テストの返却と振り返り 3. エントリーシートの3つの要素 4. 自身の強みとエピソードについて考える	遠藤 講義 自己PRの提出（メール）	
2	4/14月 AM	自己PR/志望動機を考える②	1. 志望動機を完成させる 2. 「学生時代に力を入れたこと」を完成させる 3. 面接に向けて、自己紹介文を完させる	遠藤 講義	
3	4/18金 AM	ビジネスマナー演習① ～言葉づかい～	1. あいさつ、返事、身だしなみ、姿勢 2. 感じの良い言葉遣いと敬語、クッション言葉	遠藤 講義	
4	4/21月 AM・PM	面接練習①	1. 面接の目的と採用側の視点 2. 面接の流れ（入室から退室まで）を中心に練習 3. オンライン面接の注意点	遠藤 講義・演習 （スーツ着用）	
5	4/25金 AM・PM	グループディスカッション	1. グループディスカッションの目的と採用側の視点 2. 役割について 3. 模擬グループディスカッション	遠藤 講義	
6	4/28月 AM・PM	伝える力を磨く	1. 自己PR添削の返却、フィードバック 2. わかりやすく、簡潔に、印象深く伝える練習	遠藤 講義・演習	
7	5/2金 AM・PM	面接練習②	1. 特定の店舗・企業を想定し、模擬グループ面接 2. 面接を振り返っての質疑応答	遠藤 講義・演習 （スーツ着用）	
8	5/12火 AM	ビジネスマナー演習② ～電話、メール、訪問マナー～	1. 採用選考を意識した電話応対やメールのマナー 2. 訪問マナーと名刺交換	遠藤 講義	
9	5/19月 AM	ビジネスマナー総まとめ	1. 新入社員としての心構え、報連相の重要性 2. 全体を振り返っての質疑応答 3. 課題レポート	遠藤 講義	
10	6/2月 AM	お金のことを学ぶ時代	ファイナンシャル・リテラシーとライフデザイン	森川 講義	
11	6/9月 AM	税金・社会保障について	税金・年金・保険 チェックテスト	森川 講義	
12					
13					
14					
15					
他教科との関連 インターンシップ			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業	

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	デザイン			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月	時間数	30		単位数	1
授業概要	1年次に学んだデザインの基本的な知識と技術をベースに、より実践的な表現方法や応用技術、プレゼンテーションの仕方などを習得する。	到達目標	実際のプレゼンテーションの場において役立つ、パースやデザイン画の描き方、空間を表現する力を身に付ける。			
担当教員 プロフィール	徳永雅之 東京芸術大学を卒業後、油絵画家として創作活動を続け、多くの作品を創出。 植物を素材とした創作活動であるフラワーデザインにおいて、重要な構成要素であるデザインの基本概念を、専門的な知識と技術を持って分かりやすく指導する。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート0% 実技100% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/5金 AM	スケッチから伝える①	モチーフをスケッチ	徳永 講義・演習
2	9/5金 PM	スケッチから伝える②	モチーフをスケッチ・講評	徳永 講義・演習
3	9/12金 AM	スケッチから伝える③	写真を見て描く・プレゼンボードの完成	徳永 講義・演習
4	9/12金 PM	スケッチから伝える④	プレゼンテーション・講評	徳永 講義・演習
5	9/19金 AM	スケッチから伝える⑤	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
6	9/19金 PM	スケッチから伝える⑥	デッサン 伝わる絵 表現方法	徳永 講義・演習
7	9/26金 AM	スケッチから伝える⑦	空間表現	徳永 講義・演習
8	9/26金 PM	スケッチから伝える⑧	空間表現	徳永 講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 フラワーデザイン			欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考 1回(2コマ)180分授業

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	インターンシップ			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月・11月	時間数	120		単位数	4
授業概要	実習科目の実践 職業現場の実際を知見する 現場における実務経験の訓練	到達目標	実務を通して基礎知識・技術の重要性を学び、社会人として必要なコミュニケーション力とビジネスマナーの実践を目標とする。			
担当教員 プロフィール	小池智子 教務副部長、就職担当の立場から、各学生の希望に沿った実習先企業を選定・依頼をする。また、フラワーデザイン・ブライダルフラワーの担当教員であることから、各コースごとに学生に求められる基礎技術・資質など企業からの評価と合わせて総合評価をすることができる。					
テキスト・教材						
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート40% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画			
回	指導項目	指導内容	備考
1	母の日短期アルバイトを兼ねたインターンシップ	期間中3日以上、園芸店もしくは生花店でアルバイトをする 5月7日(水)～5月11日(日)	実習
2	インターンシップ	期間中実働12日間、就職内定先または就職希望先で実務を経験する 11月8日(土)～11月23日(日)	実習
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。	備考

2025年度 シラバス（授業細目表）

科 目 名	卒業制作			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月～2月	時間数	30		単位数	1
授業概要	2年間学んできたことの集大成として、作品を制作し卒業作品展で家族や一般の方々に見ていただく。出品作品を制作する過程を記録し、まとめたものを課題研究とする。	到達目標	自分だけのオリジナルデザインを考え試行錯誤しながら完成させることを目標とする。また、作品制作の過程を記録することも必須である。			
担当教員 プロフィール	本校教務副部長でありフラワーデザイン・ブライダルフラワーの担当教員であることと、豊富な実務経験から、各コースごとに学生に求められる基礎技術・独創性など総合評価をすることができる。					
テキスト・教材	自作プリント					
成績評価方法	講義全体を100点満点として評価する。 筆記試験0% レポート70% 実技30% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ総合評価の点数が60点以上で単位認定となる。		

授 業 計 画				
回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	12/5金 AM	卒業作品展について説明 作品企画立案	レポートの作成要領と作品規定を説明。 各々作品の構想を練る	講義
2	12/12金 AM	企画書作成	デザイン案・企画書の詳細を決める	講義・演習
3	1/16金 AM	企画書完成	デザイン案・企画書を完成させる	講義・演習
4	1/23金 AM	コンセプト作成	デザインの基本的な思想（方向性）を文章にして表現する	講義・演習
5	1/30金 AM	花材・資材購入準備 展示プレート用コメント作成	作品を制作するための具体的な準備を進める	講義・演習
6	2/17火 AM・PM	会場準備 作品制作	会場準備のための全体清掃 各自、作品制作を行う	演習
7	2/19木 AM・PM	作品制作	各自、作品制作を行い完成させる	演習
8	2/20金 AM・PM	卒業作品展	受付・会場案内	
9	2/21土 AM・PM	卒業作品展	受付・会場案内	
10	2/24火 AM	会場片付け	作品撤去と会場の片づけ	
11				
12				
13				
14				
15				
他教科との関連 全教科		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は補講となる。		備考 1回(2コマ)180分授業